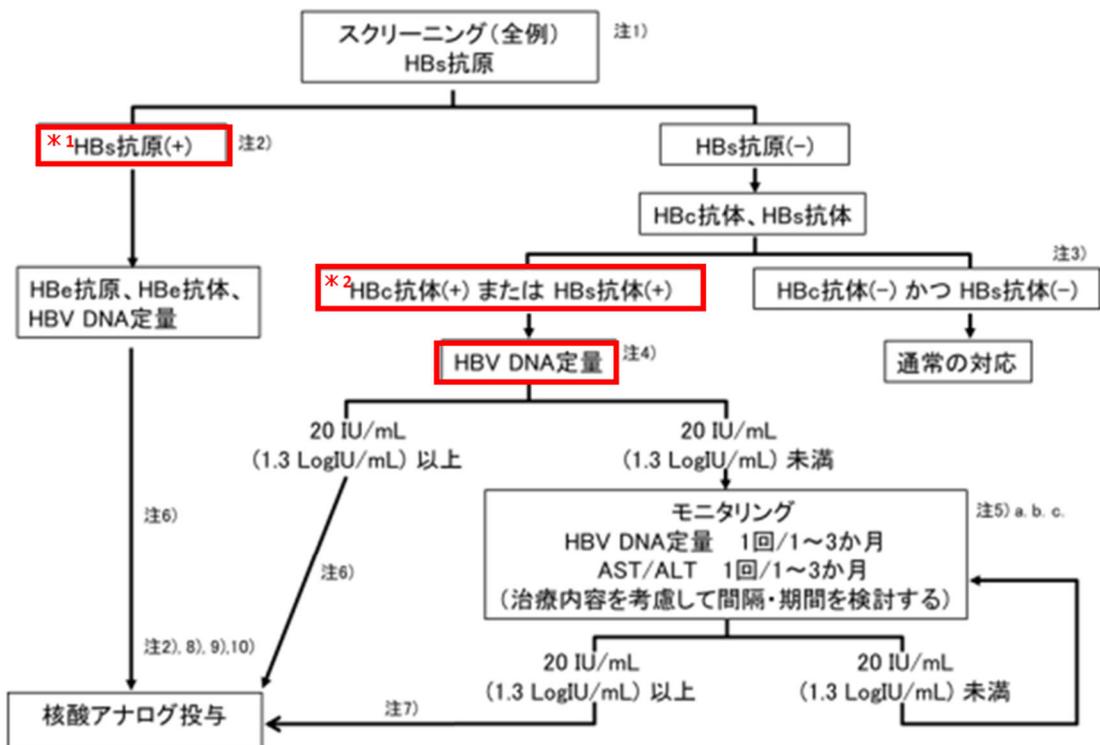


<b>プロトコル D-2</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抗がん薬初回投与患者における HBs 抗原、HBs 抗体及び HBc 抗体の検査オーダー</li> <li>・上記抗体陽性患者における HBV-DNA ウィルス量の検査オーダー</li> </ul>
------------------	---

## 1. 内容

医師に同意が得られた場合に限り、下記検査項目の追加・削除の代行オーダーを可とする

- ・初回抗がん薬（注射または経口）が投与される患者で開始までの検査の中に HBs 抗原、HBs 抗体及び HBc 抗体が測定されていない場合の検査の追加
- ・HBs 抗体及び HBc 抗体のいずれかが陽性である患者に化学療法施行中の定期的な HBV-DNA ウィルス量が測定されていない場合の検査の追加
- ・必要のない HBs 抗原、HBs 抗体、HBc 抗体及び HBV-DNA ウィルス量検査の削除



\*1 HBs抗原陽性の場合には消化器内科へ高診

\*2 HBc抗体陽性またはHBs抗体陽性の場合には定期的なHBV DNA定量実施、HBV-DNA陽性の場合には消化器内科へ高診

なお、本プロトコルは日本肝臓学会 B 型肝炎治療ガイドライン（第 3.3）に基づき、がんセンター、肝疾患センター及び薬剤部が共同で作成した。

日本肝臓学会 B 型肝炎治療ガイドライン（第 3.3）より

## 2. 実施の流れ

